ハイパースペクトル画像解析~ Spectral Angle Mapper

参考:TNT 入門「ハイパースペクトル画像の解析」

処理画面を開きます。 メインメニュー>[画像]>[ハイパースペクトル]

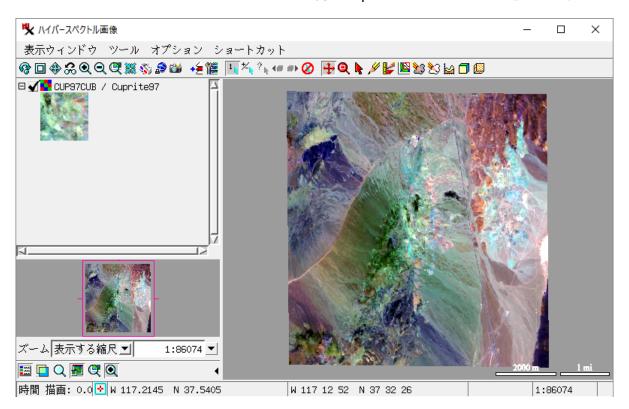
Sample Data cup97 /CUP97CUB.RVC /SAMPLIBS.RVC

<u>Tutorial</u> P4

1) ハイパースペクトル画像を開きます。



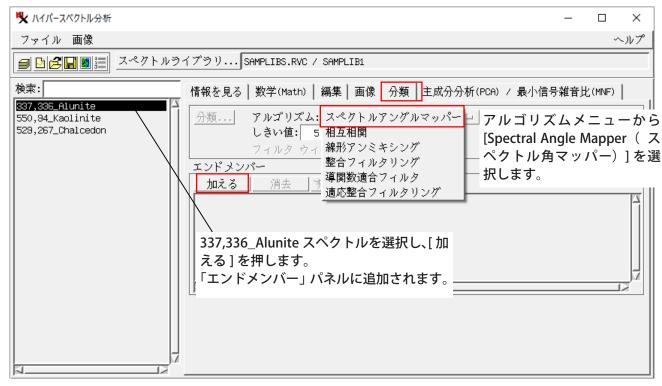
[開く] アイコン> [HyperCube Object(ハイパーキューブ・オブジェクト)] を選び、CUP97CUB.rvc プロジェクト・ファイル内の Cuprite97 オブジェクトを選択します。



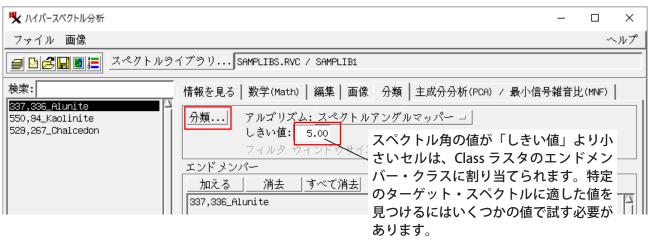
Tutorial 2) [スペクトルライブラリ]を押して、分類に使用する画像スペクトルオブジェクトを選択します。 P15

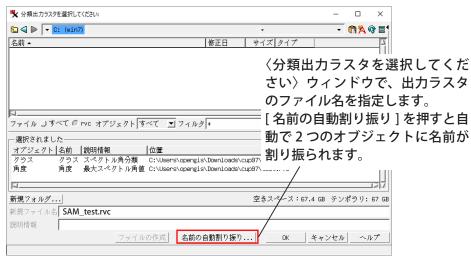


Tutorial 3) [分類]タブで、分類アルゴリズムとターゲットスペクトル (エンドメンバー)を指定します。 P17

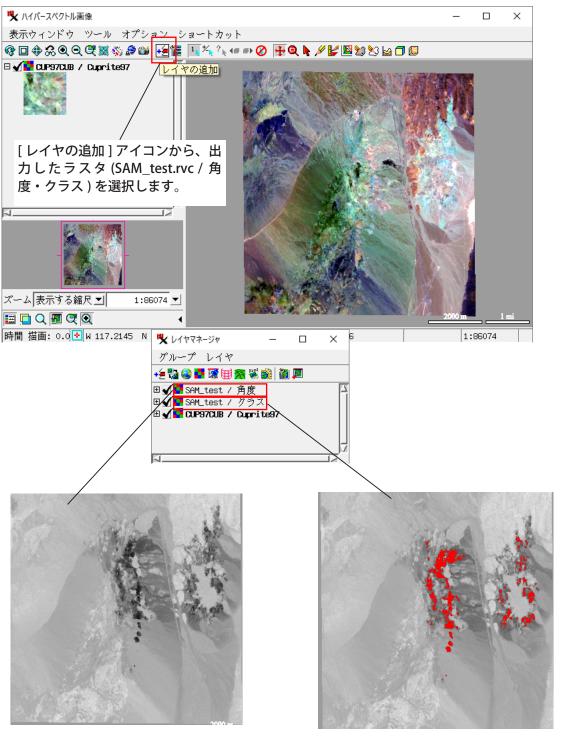


4)[分類]ボタンを押し、分類結果ラスタを出力します。





5) 出力したオブジェクトを表示します。



Alunite ターゲット・スペクトルに対応するスペクトル角ラスタ。値が小さい部分(最も暗い色調の部分)はスペクトルが最も良く一致することを示します。

Spectral Angle(スペクトル角)ラスタに重ねて表示 された Class(クラス)ラスタ。エンドメンバー・ク ラスに割り当てられたセルは赤で示しています。

memo:上図の通り赤で表示するには、ラスタの表示設定が必要。 Class ラスタに出力されるセル値は 1。カラーパレットの[編集]を押して「1」に対応するカラーを赤にする。